



敬愛

校長 吉田 修

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

「伝統を受け継ぐ」

校長 吉田 修

新しい年を迎え、3学期が始まりました。

3年生は私立高校、都立高校とも推薦試験が行われ、本格的な入試シーズンとなります。自分の希望が叶うように全力で臨むことを期待しています。

また、2年生は校外学習があります。

今月の学校だよりは進路決定や行事に取り組む府中三生へのエールを込めて、「伝統を受け継ぐ」というテーマです。

お正月恒例のスポーツと言えば、なんと言っても箱根駅伝があげられると思います。今や、一大イベントとなった関東大学駅伝競走大会です。私も、毎年楽しみにテレビ観戦しています。その「駅伝」ですが、名前の由来は、江戸時代における東海道五十三次の「伝馬制」から来たと言われています。「伝馬制」とは、「伝える」に「馬」と書きます。当時、街道の宿場（今で言う「駅」でしょうか）ごとに「駅馬」が用意され、乗り継ぎ用の「伝馬」とともに、移動に使われていたそうです。この宿場（「駅」）の間を行き来する「駅馬」と「伝馬」からヒントを得て、「駅伝」となったと言われています。ですから、「駅伝」は、日本固有の競技なのです。

ところで、皆さんは選手たちが、どのくらいのスピードで走っているか考えたことがありますか？箱根駅伝の場合、一人が走る距離は約20kmから 23 kmです。区間1位のタイムは、1時間位ですから、大まかにいうと1時間で20km走ることになります。時速20kmということです。自転車並みのスピードと言っていいでしょう。これは、100mなら18秒、50mなら 9 秒で走るのと同じですから、とても速いスピードで走っていることがわかると思います。しかも、1時間以上も走るのですから、日頃から走ることはもとより、筋力アップや体幹を鍛えるトレーニングを積んでいるのです。

そんな中、選手たちは、駅伝の代名詞でもある「タスキ」をかけて、次のランナーがいる中継所に向けて走り続けます。「タスキ」は各大学独自の物で、デザインや色、大学名の書体など昔から引き継がれてきています。何年も、何十年も引き継がれてきた、伝統ある母校の「タスキ」には、その時代時代の様々な出来事や思いが込められています。ですから、次のランナーに引き継ぐということは、先輩たちから受け継いだ伝統を、後輩たちに引き継ぐ、ということにもなるのです。

この3学期は、2年生は3年生から、1年生は、2年生や3年生から伝統を受け継ぐ期間だと思えます。

府中三中にはたくさんの伝統があります。爽やかで元気なあいさつ、元氣よく歌う校歌や合唱、一生懸命行事に打ち込む姿、仲間を大切にしている気持ち、そして、なんといっても素直で明るい心。こういった府中三中の良い伝統を先輩たちから後輩へ受け継いでいってください。



私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓
NO63

「 人事を尽くして天命を待つ 」

教諭 新井 理紗

高校3年生のとき、行きたい大学があるけど自信がない、頑張っって落ちるくらいなら最初から第二志望の大学に推薦で確実に決めてしまおうか、進路選択で悩んでいた私に当時の担任の先生が教えてくれた言葉です。

「大事なのはどこの大学に行くかじゃない。そこまで頑張る過程が大事。今の時代いい大学に行ったって就職できない人もいる。進んだ先で何をするか、どれだけ頑張れるかだから。『人事を尽くして天命を待つ』っていう言葉があっってね、やれることを全部やったらどんな結果になっても納得できるだろうし、ダメだったとしても別の大学で頑張れるはずだよ。」

この言葉を聞いて、このまま諦めたら努力しなかったことを後悔するだろうし、この先もずっと逃げる道を選んでしまうと思い、頑張る決心をしました。

たまたま私は第一志望の大学に進学することができましたが、もし不合格で別の道に進んでいたとしても後悔はしなかったはず。なぜなら、自分で決めた目標に向かってできることは全部やったと胸を張って言えるから。この言葉と、最後まで諦めないで頑張れたという経験が今でも私を支えてくれています。

三中生の活躍

(敬称略)



「第15回 石田波郷俳句大会ジュニア俳句賞」

中学生の部

- 「清瀬市教育長賞」
- 「谷村綱夢選 入選」
- 「高澤晶子選 特選」
- 「高澤晶子選 入選」
- 「細見道子選 入選」
- 「谷村綱夢選 入選」

先月号で掲載漏れがありました。
改めてお名前を掲載いたします。

- 1年 海老名 佳音
- 1年 海老名 佳音
- 1年 海老名 佳音
- 1年 篠本 哲
- 1年 鳥居 怜央
- 1年 遠藤 克真



コンクール最後の一言決まる夏

炎天下坊主じゃないぞ甲子園

父さんとスイカの種をポポポポ

がんばりや引退かかる一回戦



陸上競技部

「第64回府中市民体育大会 秋季大会」

少年対抗

中学1年女子 100m	「優勝」	1年 伊藤 朱優	14秒30
中学1年女子 800m	「優勝」	1年 岸 真央	2分54秒06
中学1年女子 走幅跳	「優勝」	1年 福岡 春乃	4m05
中学2年 走高跳	「第2位」	2年 狐塚 心之介	1m60
中学2年男子 1500m	「第2位」	2年 村上 智洋	5分02秒41
中学1・2年 砲丸投	「第3位」	1年 細谷 虎之介	7m48